

読響

YOMIKYO
Yrs.
1962-2022

BEETHOVEN
Symphony No. 7

MOZART
Bassoon Concerto

第10代読響常任指揮者を務め、
ウィーン国立歌劇場など国際的に
活躍するドイツを代表する名匠
指揮＝セバスティアン・ヴァイグレ
Conductor＝SEBASTIAN WEIGLE

ファゴット＝ロラ・デクール
Bassoon＝LOLA DESCOURS
チャイコフスキー国際コンクール入賞
まろやかな音色と抜群のテクニックで
ファゴット界に革新をもたらす名手

名匠ヴァイグレが振るベートーヴェン7番
畳み掛けるリズム、興奮は最高潮へ！

ワーグナー：歌劇「さまよえるオランダ人」序曲
WAGNER: "Der Fliegende Holländer" Overture

モーツァルト：ファゴット協奏曲 変ロ長調 K. 191
MOZART: Bassoon Concerto in B flat major, K. 191

ベートーヴェン：交響曲第7番 イ長調 作品92
BEETHOVEN: Symphony No. 7 in A major, op. 92

読売日本交響楽団 第248回土曜マチネーシリーズ

読売日本交響楽団 第248回日曜マチネーシリーズ

2022年6月25日(土)
Saturday Matinée Series No. 248 / Saturday, 25 June 2022

2022年6月26日(日)
Sunday Matinée Series No. 248 / Sunday, 26 June 2022

両日とも14時開演 東京芸術劇場 S¥7,600 A¥5,600 B¥4,600 C¥4,100
14:00 Tokyo Metropolitan Theatre

お申し込み・お問い合わせ 読響チケットセンター0570-00-4390 (10時～18時・年中無休)
■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。
あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。■マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

共催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

<https://yomikyo.or.jp/>

興奮は最高潮へ！ 活気あふれる極上の音楽 ヴァイグレによるベートーヴェン7番



セバスティアン・ヴァイグレ (常任指揮者)

Sebastian Weigle, Conductor

2019年4月から読響第10代常任指揮者を務めるドイツの名匠。ベルリン生まれ。1982年からベルリン国立歌劇場管の首席ホルン奏者として活躍後、指揮者に転身。2003年にフランクフルト歌劇場でR.シュトラウス『影のない女』を振り、雑誌『オーパヴェルト』の「年間最優秀指揮者」に選ばれた。04年から09年までバルセロナのリセウ大劇場の音楽総監督を務め、08年からフランクフルト歌劇場音楽総監督の任にある。同歌劇場は「オーパヴェルト」の「年間最優秀オーケストラ」や「年間最優秀歌劇場」に輝くなど、その手腕は高く評価されている。パイロイト音楽祭、ザルツブルク音楽祭、ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ベルリン放送響、ウィーン響などで活躍している。



ロラ・デクール (ファゴット)

Lola Descours, Bassoon

世界各地で活躍し、ファゴット界に革新をもたらすフランスの名手。パリ音楽院で学び、2009年にバーミンガムでの国際ダブルリード協会ヤング・アーティスト・コンクールで優勝。19歳でパリ管に入団し、2017年からフランクフルト歌劇場管のソロ・ファゴット奏者を務めている。19年にはチャイコフスキー国際コンクールで第4位入賞し、注目を浴びた。ロイヤル・コンサートヘボウ管やマラー室内管、ロンドン・フィル、バンベルク響などにも客演。18年から木管トリオ「コクトー・トリオ」のメンバーを務めるなど、室内楽でも活躍。劇やダンスなど他の芸術分野にも大きな関心を持ち、ジャンルを超えた企画にも参加。新作の委嘱・録音なども積極的に行っている。今回、読響に初登場。

6月の《土曜・日曜マチネーシリーズ》では、時代を超えて広く愛されているベートーヴェンの交響曲第7番を演奏します。ドイツを代表する名匠ヴァイグレの指揮による生き生きとした演奏が、会場に爽やかな風を吹かせるでしょう。モーツァルト、ベートーヴェン、ワーグナーという、時代の異なる3人の作曲家によるドイツ音楽の名曲を盛り込んだプログラムを、心ゆくまでお楽しみください。

1曲目は、ワーグナーの歌劇「さまよえるオランダ人」序曲。冒頭で荒れ狂う海を表現した主題で始まり、次々とドラマティックに音楽が展開する、オペラの魅力が凝縮された曲です。名だたる歌劇場で活躍するヴァイグレの類稀なる手腕に、どうぞご期待ください。

続くモーツァルトのファゴット協奏曲では、フランスの名手ロラ・デクールが読響と初共演。彼女は、19歳でパリ管に入団し、2019年にはチャイコフスキー国際コンクールで入賞して注目を浴びました。現在、ヴァイグレが音楽総監督を務めるフランクフルト歌劇場管のソロ・ファゴット奏者です。モーツァルトによる協奏曲は、普段は縁の下の方の力持ちとしてオーケストラを支えるファゴットにスポットライトを当てた、数少ない作品のひとつです。デクールはまろやかで甘い音色と抜群のテクニックでファゴットの魅力を伝え、聴衆を魅了するでしょう。

後半には、ベートーヴェンの交響曲第7番を披露。生き生きとしたリズムが特徴的で、人気の高い作品です。楽章ごとに一貫したリズムのパターンを用いながらも、巧みにその表情を変え、緊張感と躍動感の絶妙なバランスで聴衆を虜にします。最終楽章ではリズムの活気も最高潮を迎え、会場は高揚感に包まれるでしょう。曲中の至る所にベートーヴェンの技巧が光る交響曲第7番。この作品の魅力を、ヴァイグレは余すことなく表現するはず。ヴァイグレ×読響によるエネルギーに満ちあふれた演奏に、どうぞご期待ください。

読売日本交響楽団 第248回 土曜マチネーシリーズ

2022年 **6月25日** (土) 14時開演
S ¥7,600 / A ¥5,600 / B ¥4,600 / C ¥4,100

読売日本交響楽団 第248回 日曜マチネーシリーズ

2022年 **6月26日** (日) 14時開演
S ¥7,600 / A ¥5,600 / B ¥4,600 / C ¥4,100

東京芸術劇場 コンサートホール (池袋)

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分 (*駅地下通路2b出口と直結しています)

東京芸術劇場には一時託児サービスがあります (公演1週間前まで予約)。株式会社ミラクス ミラクスシッター0120-415-306 (予約受付: 平日9時-17時) 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます (要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。■マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296